



きずな
絆



よくまなび よくあそび
～ 人生を拓く力の育成 ～
まなび いっぱい
やさしさ いっぱい
げんき いっぱい

「よくまなび よくあそび」そして「ビタミンJ」

大洲小学校の学校教育目標は「よくまなび よくあそび」です。どのようなイメージが思い浮かびますか？ 「意欲的に授業を受け、休み時間は元気いっぱい遊ぶ」ような、「まなび」と「あそび」を両立して活躍する子どもの姿でしょうか。

「まなび」と「あそび」という2つの言葉は、学校生活の全体を象徴的に表しています。「まなび」、「あそび」に関係なく、学校生活の中の何でもかまわないので、子どもたちに「頑張った、できた、私はすごい！」という成功体験を味わわせてあげたい。それが私の「よくまなび よくあそび」です。

算数の授業で輝く子もいれば、体育の授業で輝く子もいます。歌の上手な子、楽器が上手な子、絵画や工作が得意な子、読書が好きな子、行事でリーダーとして輝く子、陰に徹して頑張る子。掃除を頑張る子、ユーモアがあってクラスを明るくしてくれる子もいます。

「私（僕）は頑張っている。私はすごい！」と、成功体験を積みかさねていくと、「自分に自信をもち、自分のことが好き」になります。「自尊感情（自尊心・自己肯定感）」です。

この「自尊感情」が育まれると、物事をプラス思考でとらえることができ、何事にも積極的に取り組むようになります。また、周りの人の“よさ”を認めることができ、人に優しく接することができるようになります。感謝の気持ちや周りへの貢献意欲が高まります。まさに、学校教育目標の「人生を拓く力の育成」になります。

ただし、「自尊感情」を育てるには、必要なものが1つあります。それは「ビタミンJ」です。元大阪教育大学教授の園田雅春氏は、「子どもの自尊感情は、野菜や果物を食べてビタミンを摂取するように、周囲からかけられる“プラスの言葉”で育つ。自分の存在そのものに対する揺るぎない自信を高める」と述べています。さらに、このプラスの言葉を、氏は自尊感情の頭文字をとって「ビタミンJ」と呼んでいます。（朝日新聞デジタル）

私たち人間は、ビタミンを自分自身でつくり出すことはできないので、食物などから摂取するしかありません。同じように、「自尊感情」を育てるには、自分を認め、信じ、励まし続けてくれる人たちが、プラスの言葉「ビタミンJ」を、時間をかけて与え続けることが必要です。

「まなび」や「あそび」の中で、「私は頑張っている。私はすごい！ 私は自分が大好きだ！」という、子どもたちの自尊感情を育むこと。それが私たちの願いです。そのために、一人一人の“頑張り”や“よさ”をほめ続けていきます。保護者や地域の皆様にも、成長に不可欠な「ビタミンJ」を、機会のあるごとに子どもたちに与えていただきたくお願いいたします。



学校経営の方針について

12月に学校関係者評価（保護者アンケート）を行います。「学校経営方針」の概要を示し、振り返りの参考にさせていただきます。ご意見をいただいたうえで、「令和4年度 学校経営方針」を策定させていただきます。

＜目指す児童像＞

- まなびいっぱいの子ども （確かな学力）
- やさしさいっぱいの子ども （豊かな心）
- げんきいっぱいの子ども （健やかな体）

子どもたちは皆、学びたい、人にやさしくしたい、元気でありたい、という気持ちをもっています。学校生活の中で、自尊感情を育み、子どもたち一人一人の自己実現を図ります。

＜目指す教師像＞

- 心身ともに健康で、信頼と期待に応える教師
- 子どもに寄り添い、共感することができる豊かな人間味のある教師
- 研修に励み、確かな指導力のある教師
- 組織の一員として協働体制に努め、使命感・責任感のある教師

子どもにとって、最大の教育環境は教師自身です。子どもの無限の可能性を信じ、励まし続け、子どもの「やる気」を引き出します。一人一人の創意と工夫、能力を生かし、教職員の自己実現を図ります。

＜地域とともにある学校づくり＞

- 保護者や地域の方に信頼される、地域とともにある学校
- 地域学校協働本部との連携
- 児童の安全・安心を地域で見守る体制の構築

「地域とともにある学校」づくりに努め、保護者や地域の願いや期待に応える努力をします。また、積極的に学校情報を発信（学校だより、ホームページ、メール配信等）し、相互理解と信頼関係の醸成を図ります。



千葉県交通安全推進隊 永年表彰

日頃から、児童の登下校の交通安全の見守りや青色防犯パトロールで、安全安心の推進に格別のご尽力をいただいております。

このたび、交通安全推進隊員として、10年以上活動いただいた皆様に、千葉県交通安全対策推進委員会より表彰がありました。

長年の活動に感謝の意を表します。

上野 尚夫 様 植木 裕子 様
飯島 徹雄 様 北島 泰信 様

